

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-119	小学校	国語科	書 写	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 603	小学 書写 六年		

## 1. 編修の基本方針

文字を整えて書くための原理・原則を理解し、自分の課題と向き合って練習する過程をとおして、子どもたちは「学び方」を身につけます。

相手にわかやすく伝えるための書き表し方について考え、工夫する過程をとおして、子どもたちは「伝え方」を身につけます。

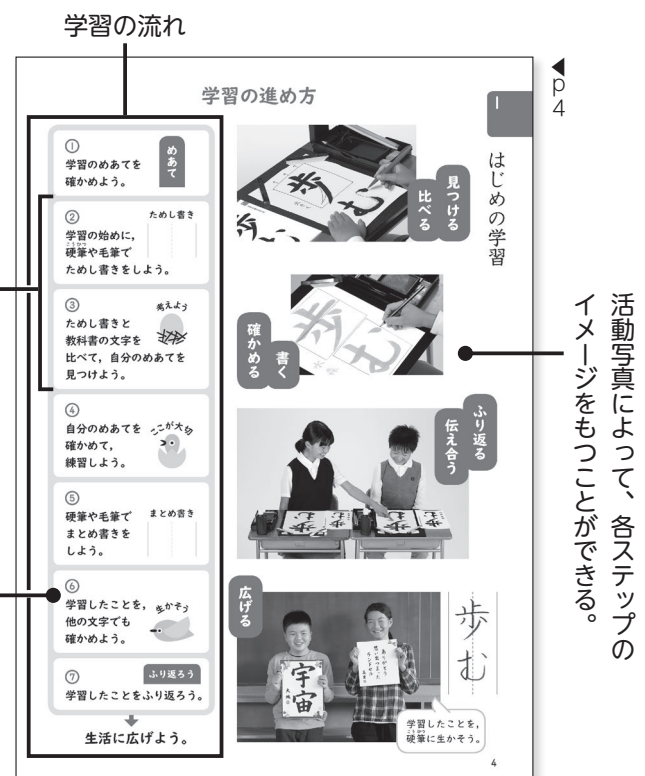
本書は、教育基本法に示された教育の目的（第一条）および目標（第二条の第1～5号）の実現に向けて、「学び方」と「伝え方」を軸に、生涯にわたって豊かな文字の使い手となるような教材を選定・構成しています。

### ① 「どのように学ぶか」の見通しがもてる

- 全学年に「学習の進め方」を収録しました。子どもの書字例や活動写真例を示すことで、自分の課題を解決していくための具体的な方法がわかり、意欲的・主体的に学習できます。

普段書いている自分の文字と教科書の文字とを比べて、課題を発見する。

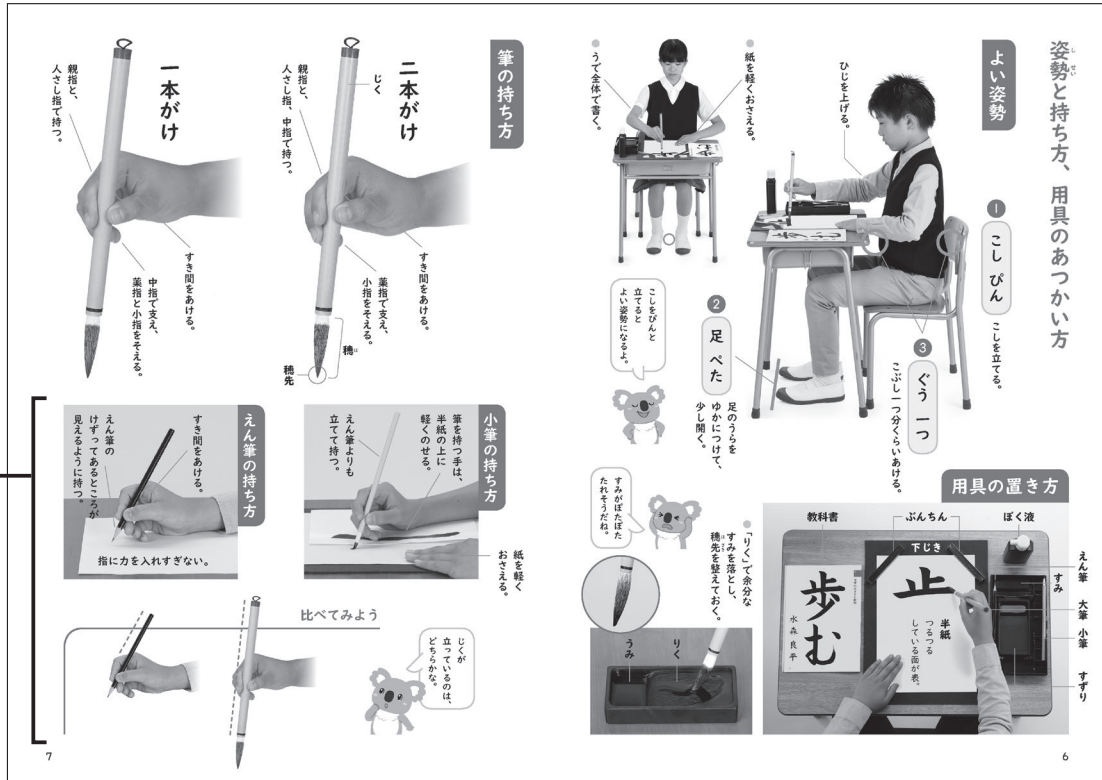
毛筆で学習したことを硬筆の文字や普段の学習活動で生かし、日常化を図る。



## ② 毛筆学習の基礎となる「用具の扱い方」「よい姿勢と持ち方」の習得

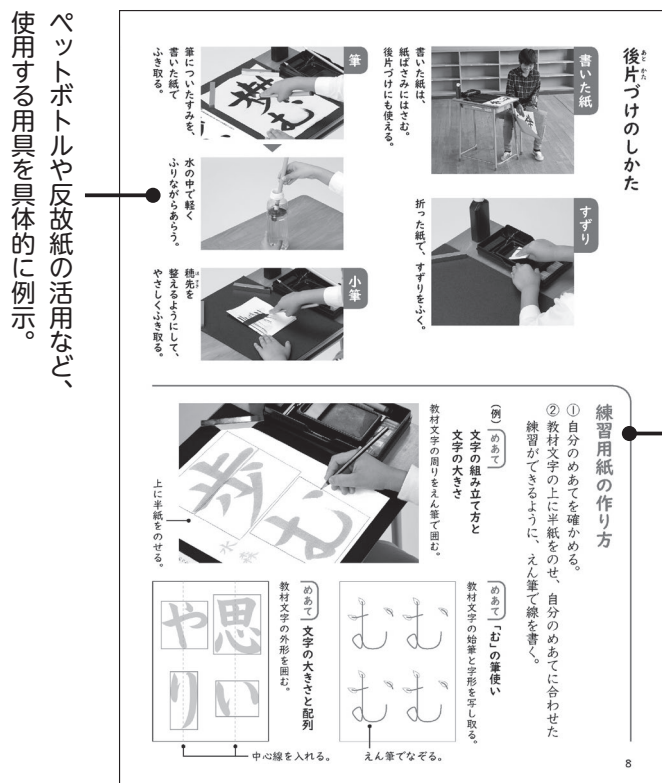
- 用具の扱い方、よい姿勢と持ち方の要点がまとめられており、確認しやすい紙面構成です。
- よい姿勢を保つには、腰を起こし、背筋を伸ばすことが大切です。姿勢や持ち方が崩れがちな高学年においてもよい姿勢と持ち方を習慣化できるように、見やすい図版と説明で定着を図ります。

▶ p.67



高学年においても、確認しておきたい要点を、見開きで簡潔に掲載。

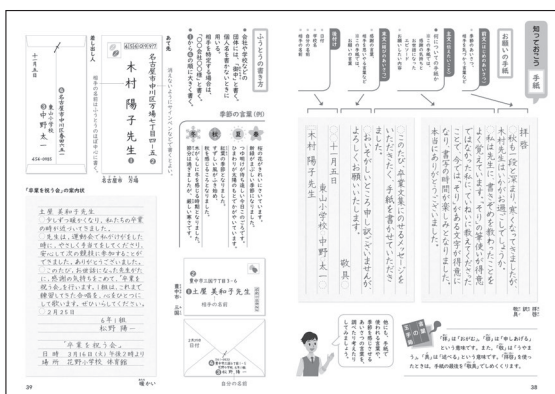
▶ p.8



子どもが主体的に課題解決に取り組めるように、めあてに合った練習用紙の作り方を掲載。

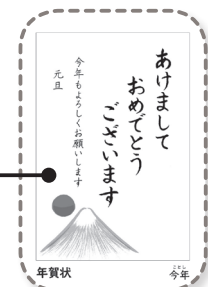
### ③ 書いて伝え合う心を育てる

- 全学年に手紙やはがきの書き方を収録することで、学年の発達段階にふさわしい伝える力を育てていきます。6年生では、国語で学習する敬語との関連を図りながら、手紙で敬語の表現を使うと、相手意識をもった書き方ができることを学習します。



季節に合った挨拶の表現について知ること  
で、日本の伝統文化にふれます。文例  
は卒業文集にのせるメッセージのお願い  
や卒業を祝う会の案内状を扱っており、  
子どもにとって身近な題材です。

▼p29

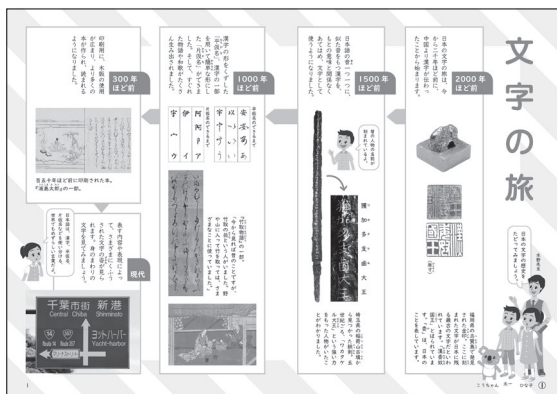


学習したことを生かして、年賀  
状を小筆で書く活動によって、  
日常化を図ります。

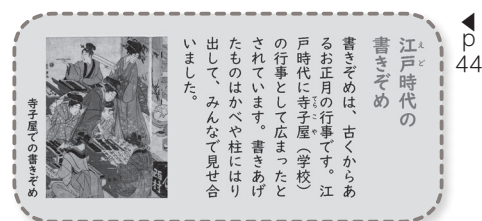
◀ p38, 39

### ④ 子どもの文字環境を豊かにする

- 文字への興味・関心を高める教材は、各学年の発達段階に応じた題材を設定することで、子どもの実感をもった知識・理解につながります。
- 書き初めの行事をとおして、日本の伝統と文化への関心が高められるようにしました。



◀ 表紙裏 p1



▶ p44

書き初めの由来をコラムで掲載しています。

「文字の旅」では、中国から漢字が伝わったところから現代の文字環境までを俯瞰できます。国語や社会の学習との関連を図りながら、知識が有機的につながるような構成です。

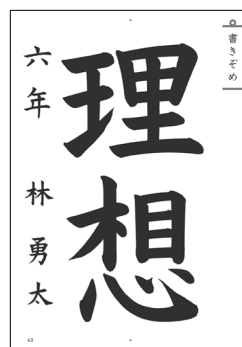


▲p18 平仮名のもとになる漢字  
毛筆教材として学習する「思  
いやり」の「い」「や」「り」  
について、もとになる漢字を  
知ること、平仮名の成り立  
ちについての興味・関心を高  
めます。



▲p25 生活と文字

手書き文字が効果的に使われ  
ているパッケージや漫画など、  
子どもの身近に見られる  
文字を取り上げることで、知  
的好奇心を広げます。



▲p43



▲p45-48

## 2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

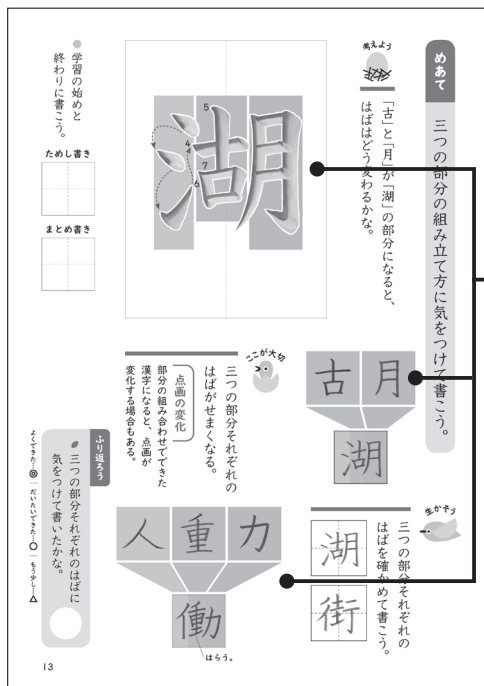
〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
1 はじめの学習	● 運筆しやすい姿勢・執筆法が定着するよう、よい筆記用具の持ち方と姿勢を丁寧に解説し、児童の健康に配慮しました。〈第1号〉	p6-8
2 文字の大きさと配列 3 文字の組み立て方 (三つの部分) 4 文字の大きさと配列, 点画のつながり 5 文字の大きさと配列, 点画のつながり (小筆) 好きな言葉を書く 6 学習のまとめ 書きぞめ	● 基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養になるように配慮しました。〈第1号〉 ● 確かな書く力を養うことにより、主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第3号〉 ● めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自律の精神を養うようにしました。〈第2号〉 ● 穂先の通り道が理解しやすい朱墨の図版を提示することで、適切に運筆する能力を高めるように配慮しました。〈第1号〉 ● 教材の児童名、キャラクターの男女比に配慮しました。〈第3号〉 ● 教材の言葉、文章として、生命を尊ぶ心の育成や、自然環境を意識できるように配慮しました。〈第4号〉 ● 書くことで日本語の美しさを体感でき、心が豊かになるような教材語句や文章を選定しました。〈第1号, 5号〉	p9-10, 12-14, 19-21, 26-27, 30-35, 43, 45-48
学習の進め方	● 「学習の進め方」を提示することで、児童が意欲的・主体的に学習する能力を高められるように配慮しました。〈第2号〉	p4
書きぞめ 【レッツ・トライ】 『枕草子』を書く 5 文字の大きさと配列, 点画のつながり (小筆) 【レッツ・トライ】 小筆を生かして書く 【知りたい 文字の世界】 文字の成り立ち 生活と文字	● 書き初めの言葉として、『理想』『伝統を守る』を書くことによって、日本の伝統と文化への関心が高まるようにしました。〈第5号〉 ● 古典や俳句、年賀状などを書く活動をとおして、日本の伝統と文化を体感できるようにしました。〈第5号〉 ● 文字の成り立ちを知ることによって、我が国の文化を尊重できるように配慮しました。〈第5号〉 ● 子どもの身の回りにある文字について理解を深めることで、幅広い知識と教養になるように配慮しました。〈第1号〉	p43, 45-48, 22-23, 26-29, 18, 24-25
学習の進め方 【レッツ・トライ】 小筆を生かして書く 好きな言葉を書く 【知っておこう】 お願いの手紙 【レッツ・トライ】 話し合いメモ 国語のノート 校外学習のリーフレット	● 学習の成果が認め合えるような教材を設けました。〈第3号〉 ● グループや個人で課題解決を行うことをとおして、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うように配慮しました。〈第2号〉 ● はがきや手紙の書き方を習得することで、幅広い知識と教養を身につけることができるように配慮しました。〈第1号〉 ● 依頼状や案内状を書く活動によって、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。〈第3号〉 ● 学習した内容を、他教科や学校生活に生かしていく力を身につけるよう配慮しました。〈第2号〉	p4, 28-33, 29, 38-39, 11, 15, 16-17

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

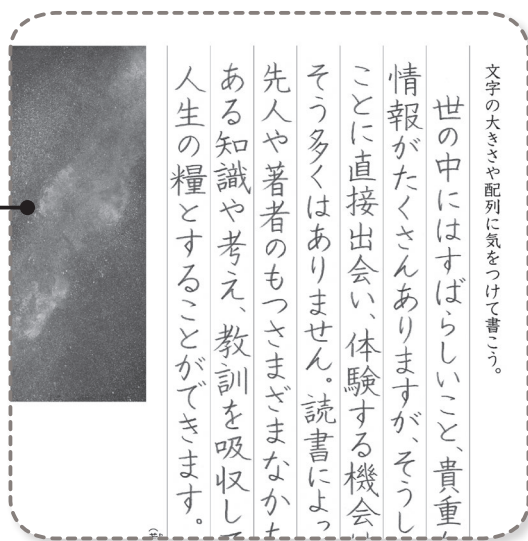
#### ●ユニバーサルデザイン (UD) による多様性への配慮



○カラーユニバーサルデザイン (CUD) や特別支援教育への対応  
色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字(ユニバーサルデザインフォント)などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

色覚の個人差を問わず、より多くの人に、見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れています。

▼p37



◀p13

#### ○「パラリンアート」の取り組み

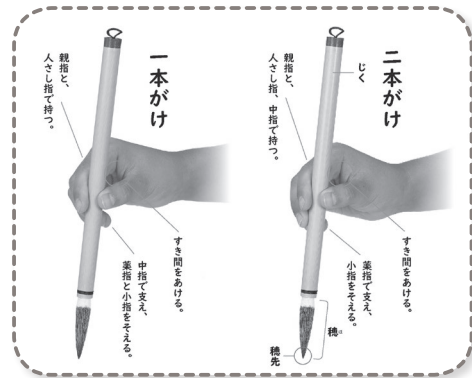
さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品(障がい者アート)を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

#### ●地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

#### ●堅牢な造本

- ・表紙には撥水コーティングを施し、墨や汚れに強い堅牢な造本となっています。
- ・裏表紙の氏名欄は型抜き加工がされているため、どんな筆記用具でも書き込むことができます。
- ・裏表紙では、全学年において、鉛筆・筆の持ち方の図版や写真を取り上げており、いつでも確認できます。



▲6年裏表紙 筆の持ち方

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-119	小学校	国語科	書 写	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 603	小学 書写 六年		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ① 学びやすく、教えやすい紙面構成

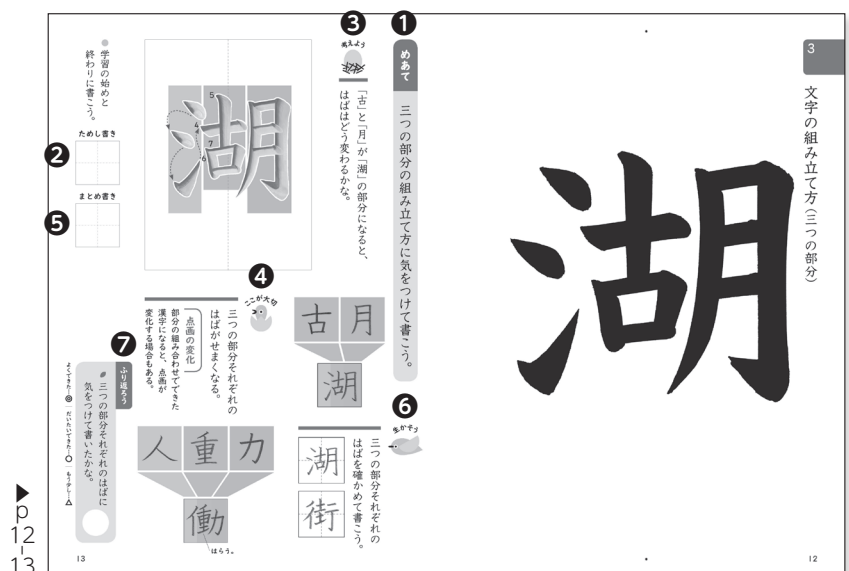
- 「めあて」→「文字を書く原理・原則の理解」→「言葉を書いて応用を図る」→「振り返る」までの流れがわかりやすい紙面構成です。
- ・ 紙面で使用する色数を絞ることで、文字に注目できる、落ち着いたレイアウトです。

日常生活への活用場面

書写学習の基礎・基本の習得場面

習得した書く力を、  
他の学習や、日常生活に  
活用する力を養う。

- ① めあて**  
学習のめあてを確かめる。
- ② ためし書き**  
学習の始めに、硬筆や毛筆のためし書きをする。
- ③ 考えよう**  
課題発見のための観点を  
知る。
- ④ こが大切**  
基準確認をする。自分の  
めあてを確かめて練習する。
- ⑤ まとめ書き**  
硬筆や毛筆でまとめ書き  
をする。
- ⑥ 生かそう**  
学習したことを、他の文  
字でも確かめる。
- ⑦ ふり返ろう**  
学習したことを振り返る。



## ②「主体的、対話的で深い学び」につながる学習活動

- 文字を書くときの原理・原則が理解しやすい図版、文字を見るとき viewpoint, 他の文字への応用を図る手だて、友だちと伝え合う活動のための語彙など、「理解」「比較・分析」「活用」「伝え合い」の活動を支える学習材を豊富に掲載しています。



▲p10

メモ | 話し合いメモ —書く速さを意識して

めあて 目的にふさわしい書く速さを知ろう。

めあて 目的に合った書き方をするには、書く速さについて、どこに気を付ければよいか、話し合ってみよう。

こんな場面では、何を優先して書きませんか。

- 発表用の資料をまとめる。
- 自分用のメモを取る。
- 班のメンバー用に記録する。

話し合いのヒント

- スピード優先で書く。
- ゆっくりていねいに書く。
- 読み返してわかるくらいの速さで書く。

▲p11

- 文字の大きさと配列について、基本となる事項を学習したあとに、同じ俳句を大きさや形が異なる用紙に書く活動によって応用を図ります。

▲p29

▲p28

▲p27

- 6年間の学習のまとめとして、自分の好きな言葉を選び、書写で学習したことを生かして書きます。自分のめあてを明確にし、友達どうしで書く過程を見合ったり、書いたあとに評価し合ったりする活動をおして、対話的な学びを深めます。

▼p30-33

▼p42

「好きな言葉を書く」を学習したあとに、制作物作成によって日常化を図る活動を設定しています。

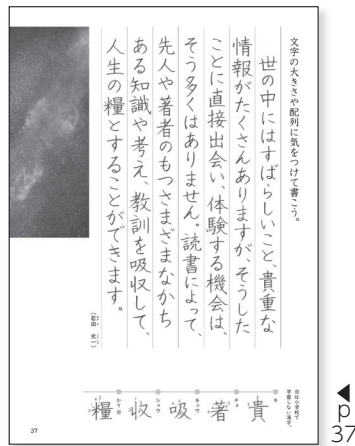
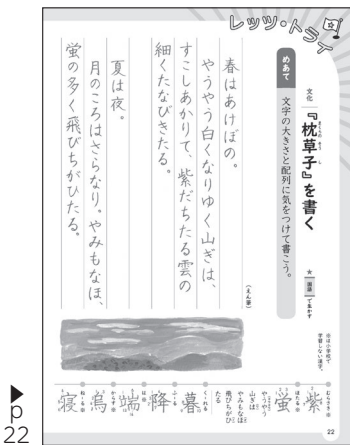
### ③ 穂先の通り道が明快で、毛筆の特性が理解できる図版

- 穂先の通り道を朱墨で明快に示した図版は、高学年の指導事項である「穂先の動きと点画のつながりを意識して書く」ことを習得するのに活用できます。ほぼ全ての教材において、この朱墨と薄墨を使った図版を掲載しています。
- 筆使いに重点をおく教材では、丁寧に扱っています。



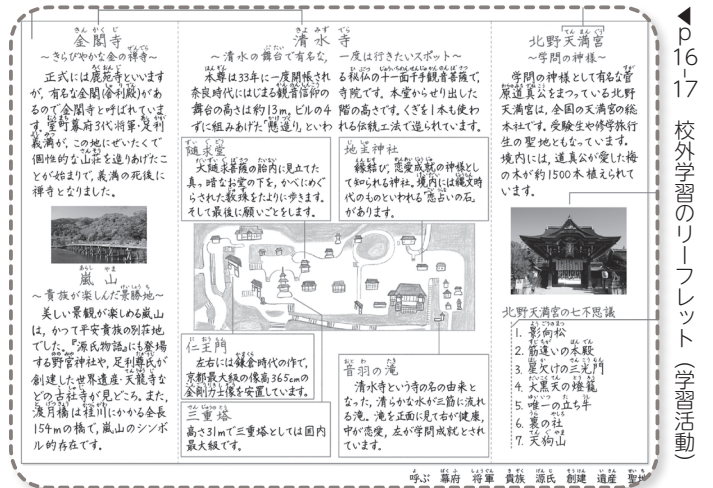
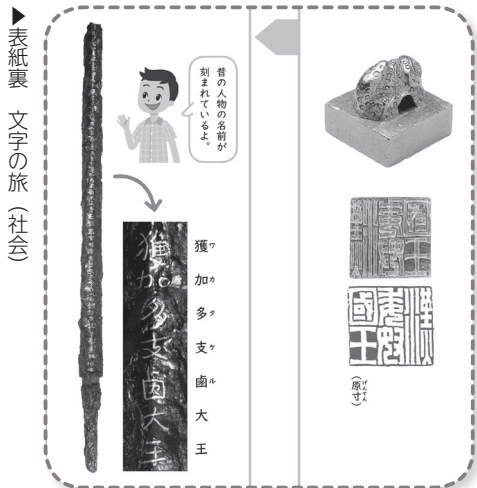
### ④ 国語力の基礎を養う

- 国語で学習した古典や文学教材を書写で視写することで、内容をより深く味わうとともに、豊かな言語感覚を養います。
- 学習内容が理解しやすいノートのみまとめ方の例として、国語のノートを題材にすることで、普段の学習に生かします。



### ⑤ 他教科での活動や言語活動のなかで生かせる「活用力」を身につける

- 身につけた書写力が、学校生活や学習活動の「どの場面」で生かせるのかが、すぐにわかるように構成されています。





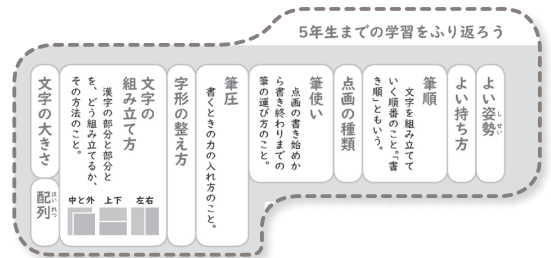
## ⑥ その他の配慮事項

### ●「何ができるようになったのか」を確かめる

- 6年間で学習した内容について、要点を絞って振り返ることで、学習したことを想起し、習得できる構成になっています。
- 前学年で学習したことの振り返りと、当該学年で学習することを、冒頭のページで俯瞰することができます。



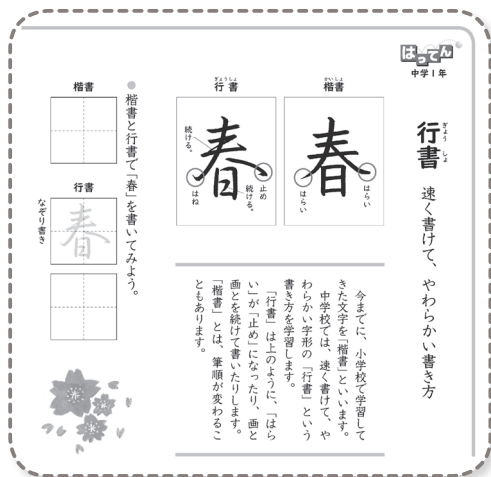
▶ p36



▲p2

### ●学年間の円滑な接続

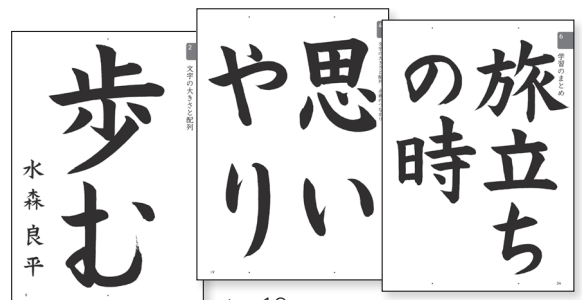
「はってん」コラムで当該学年より上の指導事項を示すことで、これから学習する内容の見通しをもち、接続を図ることができます。



▲p44

### ●程度・分量

内容と程度は、子どもの発達段階や語彙・言語環境などを考慮して、言葉としても適切で、書写の学習要素が理解しやすい文字や語句を選んで教材化しています。語句を書くことで、日本の伝統文化のよさを感じ、豊かな心を育むような言葉を選定しています。



▲p9

▲p19

▲p34

- 漢字の字体については、学習指導要領に示された字体を拠りどころにし、穏健・中正で書きやすく、子どもに親しみやすいものとしています。
- 教材の分量は、年間30～35単位時間程度で、指導事項を過不足なく効率的に学習できるようにしています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

(ア) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。

(イ) 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。

(ウ) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
文字の旅	ア ウ	表紙裏～p1	2
六年生で学習すること 五年生までの学習をふり返ろう 目次	ア ウ	p2～3	
1 はじめの学習	ア イ ウ	p4～8	
2 文字の大きさと配列	ア イ ウ	p9～10	3～4
レッツ・トライ「話し合いメモ」	ア ウ	p11	
3 文字の組み立て方（三つの部分）	ア イ ウ	p12～13	3
硬筆の学習 文字の組み立て方（左右、上下、中と外）	ア ウ	p14	
レッツ・トライ「国語のノート」	ア ウ	p15	1
レッツ・トライ「校外学習のリーフレット」	ア ウ	p16～17	1
知りたい 文字の世界「文字の成り立ち」	ア ウ	p18	適時
4 文字の大きさと配列、点画のつながり	ア イ ウ	p19～21	3
レッツ・トライ「『枕草子』を書く」	ア ウ	p22～23	1
知りたい 文字の世界「生活と文字」	ア ウ	p24～25	適時
5 文字の大きさと配列、点画のつながり（小筆）	ア イ ウ	p26～27	3～4
レッツ・トライ「小筆を生かして書く」	ア イ ウ	p28～29	2
好きな言葉を書く	ア イ ウ	p30～33	4～5
6 学習のまとめ	ア イ ウ	p34～35	3～4
六年間で学習したこと	ア イ ウ	p36～37	
知っておこう「お願いの手紙」	ア ウ	p38～39	適時
書いて 伝え合おう「思い出に残る言葉を書こう」	ア イ ウ	p40～42	適時
書きぞめ	ア イ ウ	p43	4～5
はってん「行書」	ア イ ウ	p44	
書きぞめ	ア イ ウ	p45～48	
漢字表 六年生で学習する漢字 五年生で学習した漢字	ア ウ	p49～52	適時
平仮名表 消しゴム印の作り方	ア ウ	p53	
		計	30～35

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-119	小学校	国語科	書 写	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 603	小学 書写 六年		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
44	行書	1	(イ) 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。	1
合 計				1

(「類型」欄の分類について)

- ・学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容 …… 1
- ・学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容 …… 2